

STYLING EFFECT ROADSTER (ND)

取付説明書

DAMD
Styling Effect

■ 取り付け前に必ずお読み下さい ■

この度は当製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。取付作業を行なう前に必ず製品の仮合わせ及び付属品の確認を行なって下さい。また、下記注意事項を必ず読み、安全に作業を行なって下さい。

- エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行なわないで下さい。 ● 必ず塗装前に仮合わせを行い、取り付け位置の確認を行なって下さい。塗装後のクレーム等は対応出来ません。
- 本製品を取り付ける部分は汚れや埃を取り除いて下さい。 ● 作業は2名以上の複数名で行なうことをお奨めします。 ● エンドモール、両面テープ等の接着部分は必ず脱脂作業をし、付属のプライマーを塗布して下さい。
- 両面テープは外気温が15℃以下になると接着力が低下しますので、必要があれば両面テープ及び被接着面をドライヤーなどで温めてから施工して下さい。
- ボディーコートされている車両は接着効果が十分に発揮出来ない場合があります。接着部分のボディーコートを剥離することをお奨めします。
- 両面テープの接着時は圧着を十分に行なって下さい。(目安5kgf/m²)。尚、施工後24時間は洗車や高速走行は控えて下さい。

プライマー (K-500 PAC) ⚠ 取扱注意

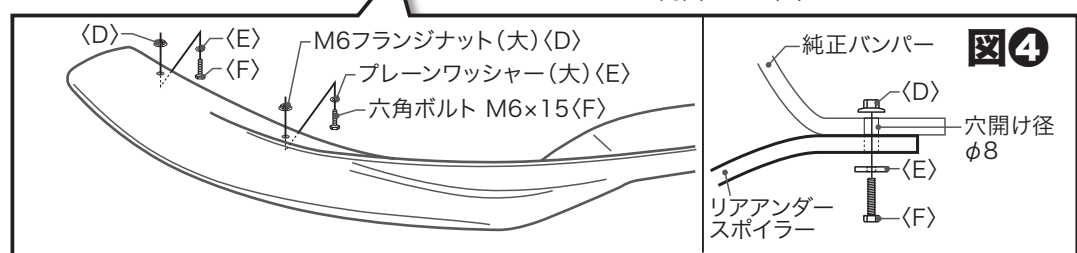
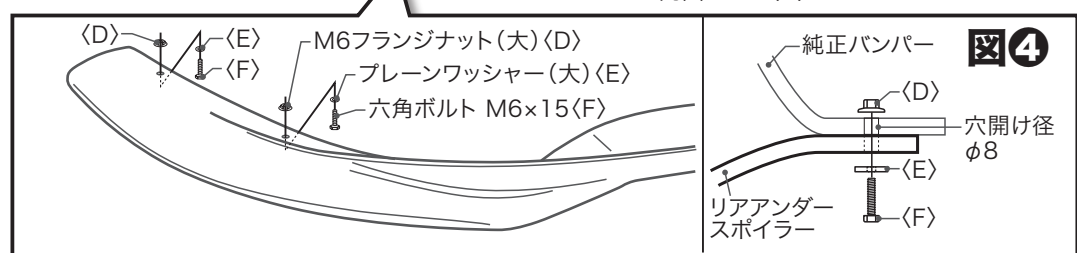
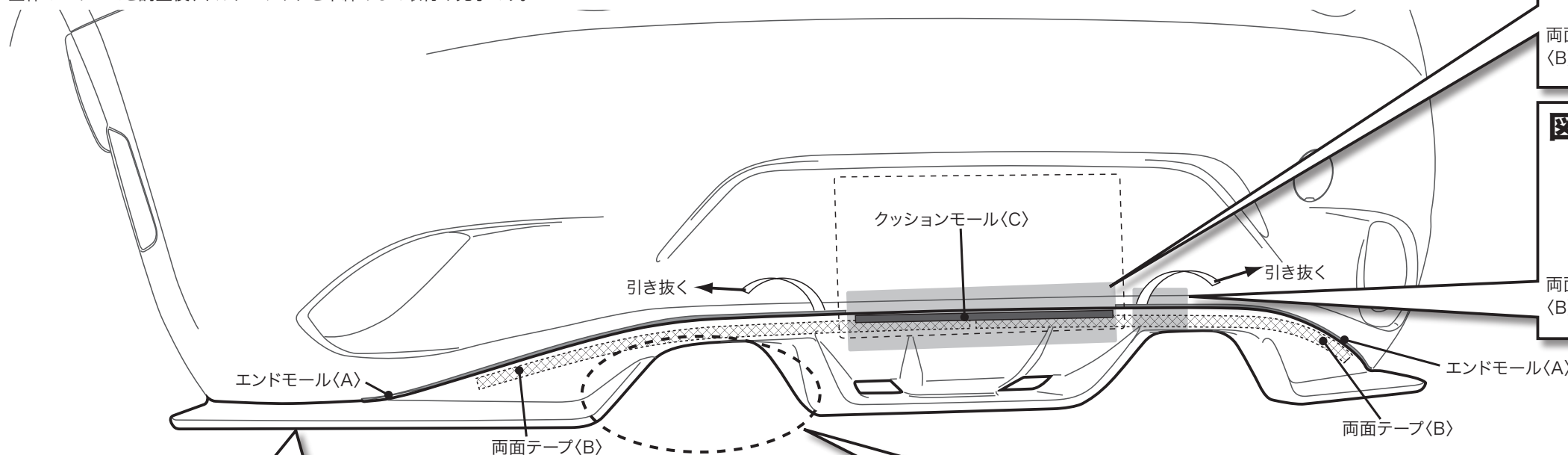
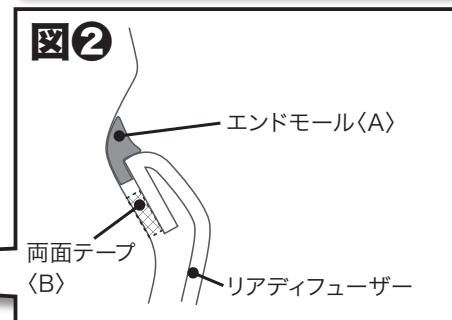
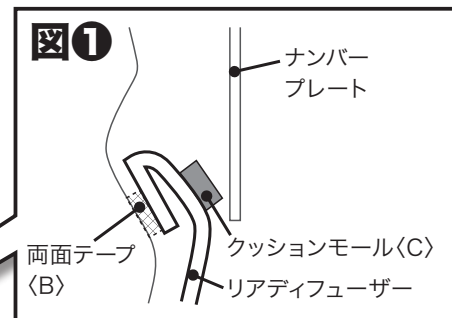
- 塗布後は10分以上乾燥させて下さい。
- 塗布する際、貼り付け箇所からプライマー液がはみ出さないように注意して下さい。
- はみ出した場合は脱脂剤で素早く拭取って下さい。はみ出したままにしておくと黄色く変色する場合があります。

REAR DIFFUSER

リアディフューザー

⚠ 本取付前に必ず仮合わせを行なってください。(未塗装素地品は塗装前に仮合わせを行なってください)

- リアディフューザーのエンドモール・両面テープ貼付面と純正バンパー側の両面テープ接着面を脱脂剤で入念に脱脂してください。
- スポイラーの両面テープ貼付面と純正バンパーの両面テープ接着面にPACプライマー(G)を塗布し、10分以上乾燥させてください。
※プライマー塗布の際、はみ出した箇所が変色する場合がありますので、両面テープ貼付面・接着面以外に塗布しないようにマスキングを行なってください。
- リアディフューザーに、下図の要領でエンドモール(A)、両面テープ(B)を貼付け、干渉による傷を防ぐためナンバープレートで隠れる部分にクッションモール(C)を貼付けます。(図①、図②参照)
- 図③の要領で型紙または寸法計測にて純正バンパーのマフラーホール形状を左側へ転写し、カッターなどで切除してください。
- 純正バンパーにリアディフューザーの両端末を、フェンダーアーチのラインに沿うように仮合わせし、マスキングテープなどで仮固定します。
- 仮合わせしたスポイラーの穴位置(左右計4箇所)を、にポンチ・ケガキ針・ペンなどで純正バンパーにマーキングします。※社外マフラーの場合、マフラー後部を一度取外す必要がある場合があります。
- 仮固定したスポイラーを取外し、純正バンパーにマーキングした穴位置にφ8の穴を開けます。(図④参照)
- スポイラーに貼付けた両面テープをスポイラーの中央側からそれぞれ“ナンバープレートの幅の半分+数cm”ほど剥がし、剥離紙が巻き込まないように純正バンパーに仮当てします。(下図参照)
- スポイラー左右のボルト・ワッシャー・ナットを仮締めし、引き出しておいた両面テープの剥離紙を左右に引き抜きながら圧着してゆきます。(図④参照)
※バンパー裏側に手を入れ、スポイラーと挟み込むように圧着することで密着性が増します。
- 全体のバランスを調整後、ボルト・ナットを本締めして取付け完了です。



リアディフューザー本体	1	D M6 フランジナット(大)	4
A エンドモール 黒 2.9m	1	E M6 プレーンワッシャー(大)	4
B 両面テープ t1.2x2m	1	F 六角ボルト M6x15	4
C クッションモール	1	G PACプライマー K-500	1

DAMD Inc.

株式会社 ダムド
〒242-0001 神奈川県大和市下鶴間45-2
TEL.046-271-5599 FAX.046-272-2266
<http://www.damd.co.jp>